

# 岩手県感染症週報

平成19年第39週（9月24日～9月30日）

岩手県感染症情報センター

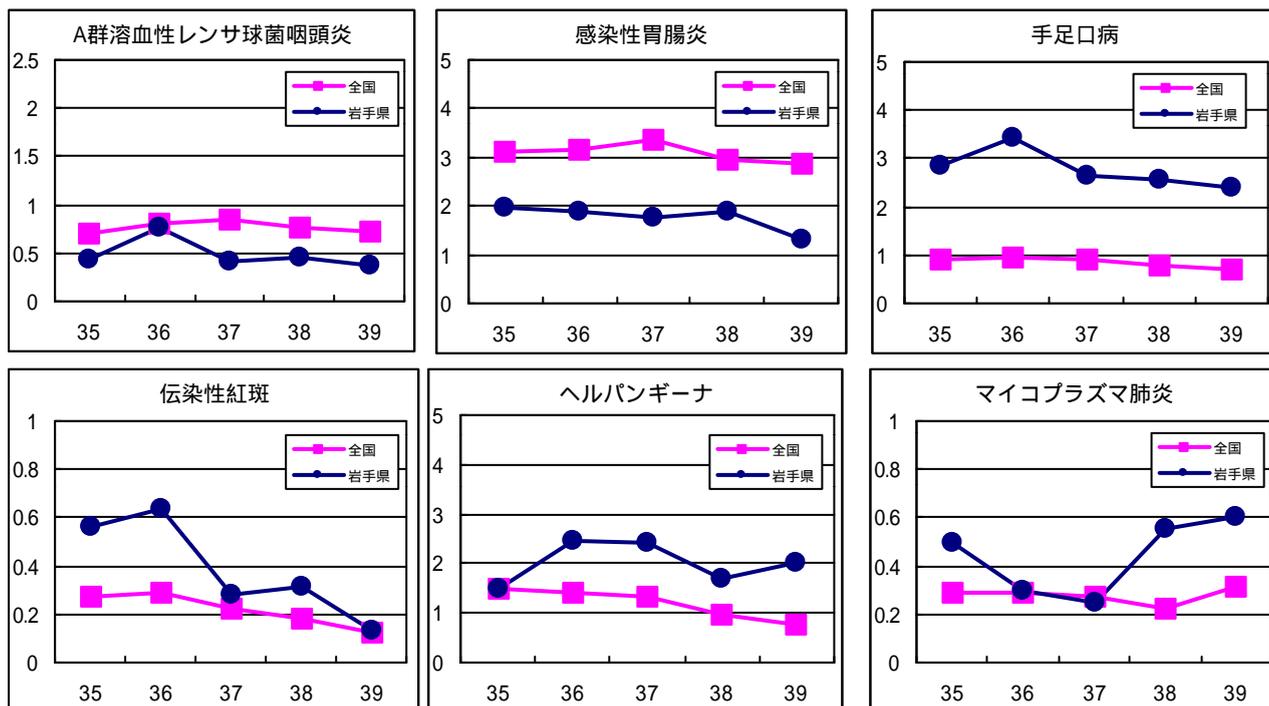
## 第39週の概要

本年4月1日の感染症法改正により、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報の3ページの表では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。できるだけ早く新分類による情報をお届けできるよう準備していますので、ご了承下さい。

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症
  - ・結核の報告が2例ありました（結核は結核予防法の廃止により2類感染症に分類されました）。
- 3 類感染症
  - ・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡地区から3例及び宮古地区から1例の報告がありました。今年の実患者報告総数は52例で、うち31例が9歳以下の患者です。涼しくなった県内ですが、保育園等では集団感染を予防するために、手洗いの励行等が引き続き必要です。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・手足口病は、この週も前週とほぼ同数の報告がありました。花巻及び釜石地区で患者数が多くなっています。
  - ・ヘルパンギーナは、前週よりやや増加しました。花巻地区で再び警報値（定点あたり患者数6人）を超えたほか、北上、奥州及び一関地区の内陸南部、二戸地区で患者数が多くなっています。
  - ・マイコプラズマ肺炎は、2週連続で増加しました。本疾患は、発熱に始まり、3～4週間に渡り長く続く咳が特徴で、晩秋から早春にかけて患者数が増加する傾向にあります。咳が長引く場合は、早期に医療機関を受診することが大切です。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		35	36	37	38	39		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.07	0.07	0.1	0.08	0.08		
RSウイルス感染症	岩手県	0.05	0.13	0.05	0.05	0.08	→	
	全国	0.05	0.07	0.1	0.1	0.12		
咽頭結膜熱	岩手県	0.13	0.08	0.05	0.03	0.03	→	
	全国	0.29	0.3	0.28	0.23	0.17		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.44	0.77	0.41	0.46	0.38	→	
	全国	0.71	0.8	0.84	0.77	0.73		
感染性胃腸炎	岩手県	1.95	1.87	1.77	1.87	1.31	→	
	全国	3.1	3.14	3.35	2.94	2.85		
水痘	岩手県	0.28	0.44	0.26	0.38	0.18	↘	
	全国	0.37	0.42	0.42	0.42	0.41		
手足口病	岩手県	2.85	3.41	2.64	2.56	2.41	→	
	全国	0.91	0.94	0.92	0.77	0.69		
伝染性紅斑	岩手県	0.56	0.64	0.28	0.31	0.13	↘	
	全国	0.27	0.29	0.22	0.18	0.12		
突発性発疹	岩手県	0.67	0.79	0.79	0.64	0.54	→	
	全国	0.86	0.84	0.83	0.72	0.72		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.51	2.44	2.41	1.69	2.03	↗	
	全国	1.51	1.43	1.33	0.98	0.77		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.69	0.28	0.36	0.38	0.41	→	
	全国	0.29	0.28	0.32	0.26	0.27		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.04	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.58	0.25	0.25	0.33	0.5	→	
	全国	0.79	0.72	0.69	0.7	0.59		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.06	0.07	0.03	0.05		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.5	0.3	0.25	0.55	0.6	↗	
	全国	0.29	0.29	0.27	0.22	0.31		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0.05	0.05	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.03		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

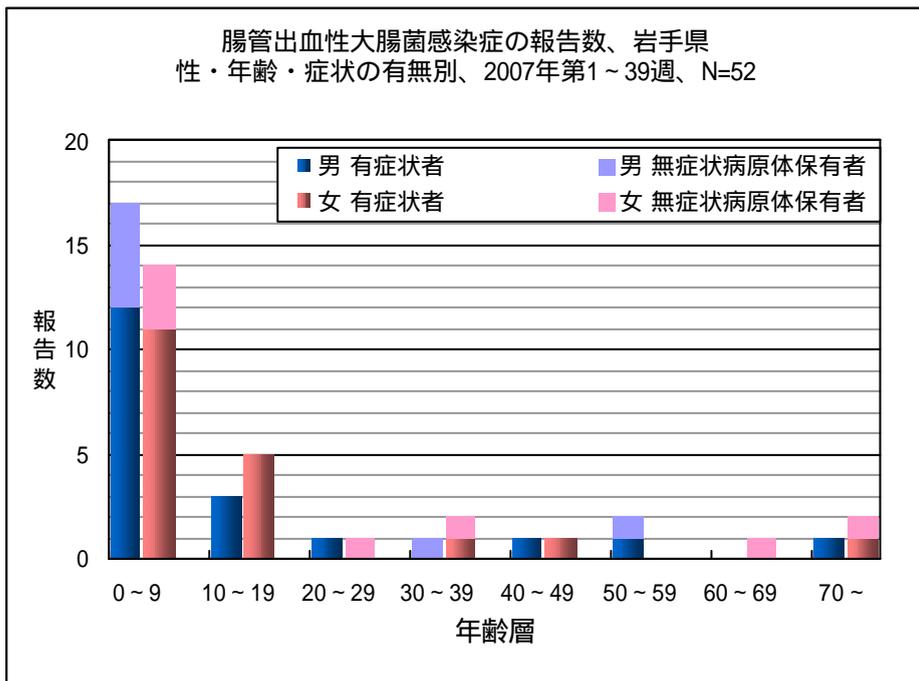
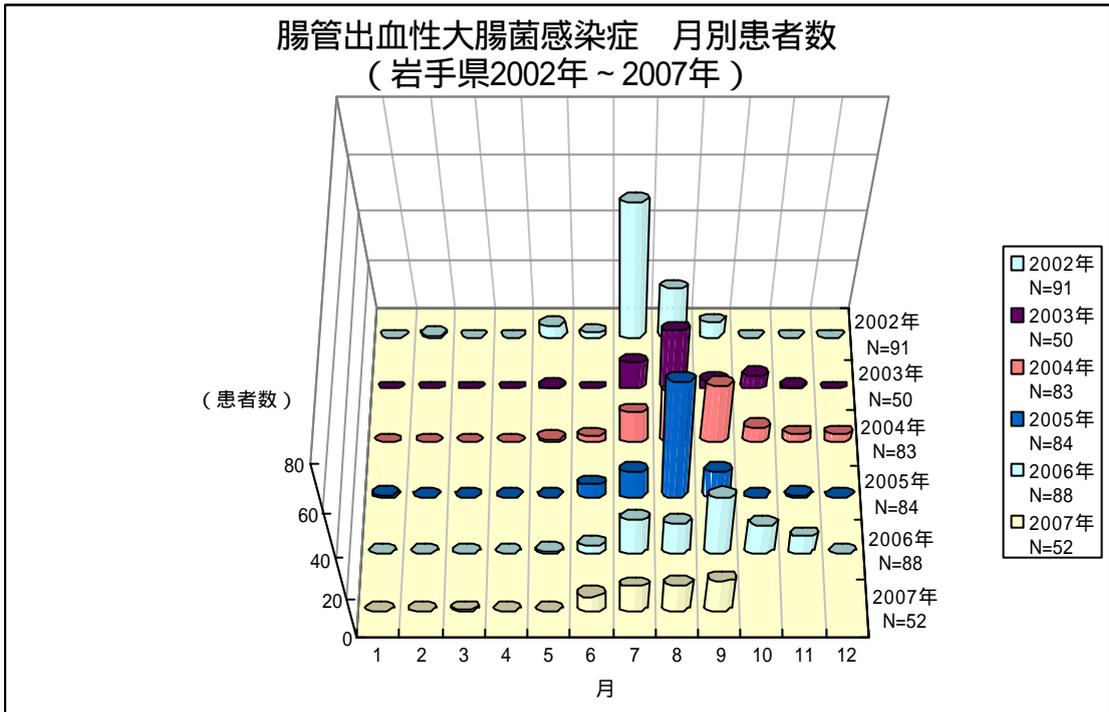
分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		35	36	37	38	39		39	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	10
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	8	383
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	34
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	15
三類	腸管出血性大腸菌感染症	11	4	4	2	4	52	105	3402
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	43
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	2	0	116
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	13
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	25
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	1	4
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	97
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	71
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3	53
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	2	3
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	2	0	2	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	37	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	9	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	18	471	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	18	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	8	587
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	2	1	172
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	176
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	110
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	77
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	4	16	1081
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	38
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	13
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	8	512
	破傷風	0	0	0	0	0	3	2	71
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	55

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第39週までに52例の患者が報告されています。性別では、男性が26例、女性が26例であり、年齢層別では、0～9歳が31例、10～19歳が8例となっています。分離された菌の血清型別では、O157が14例、O26が28例、O111が6例、その他の血清型が4例です。

例年10月以降も患者の報告は続くので、食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、保育園等では二次感染を予防するために手洗いの励行が重要です。



## 病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## 集団感染情報

- ・この週に集団発生の情報はありません。

## 岩手県麻疹（成人麻疹を含む）全数把握事業

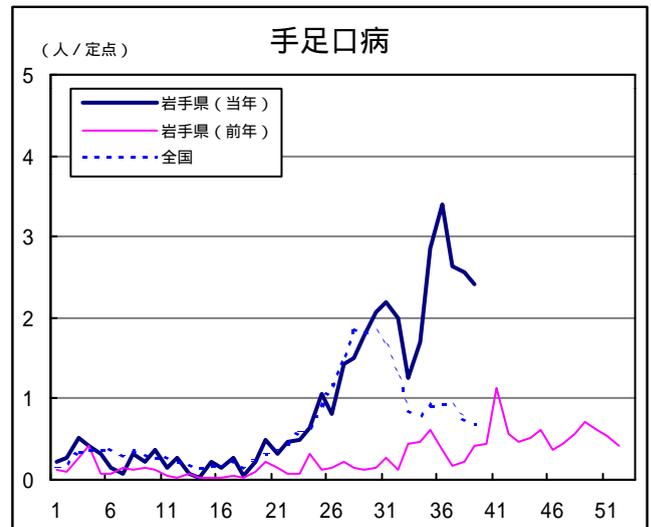
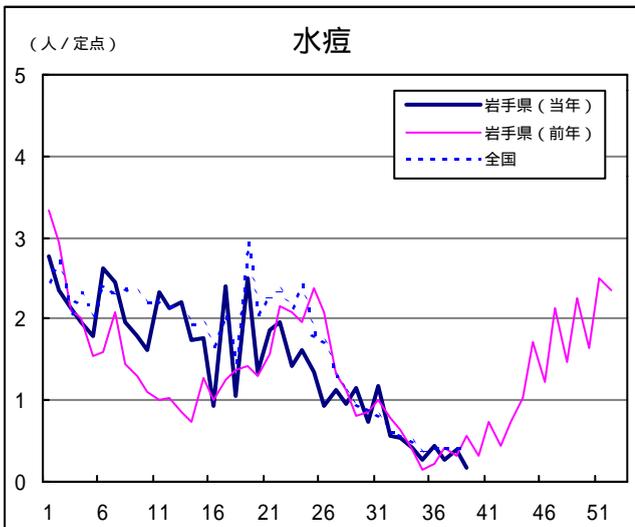
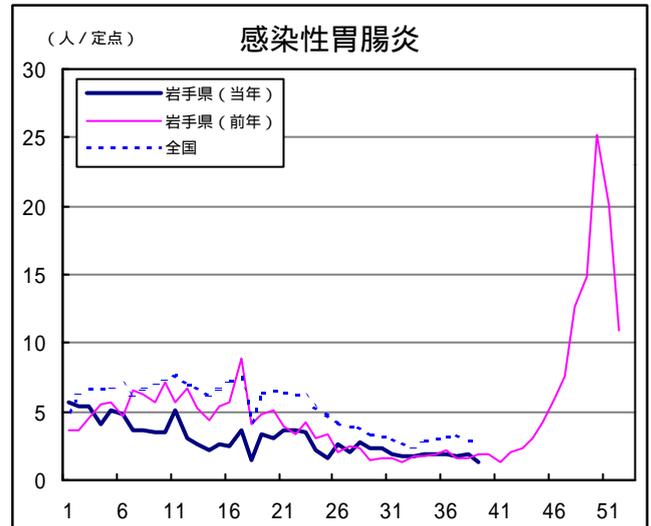
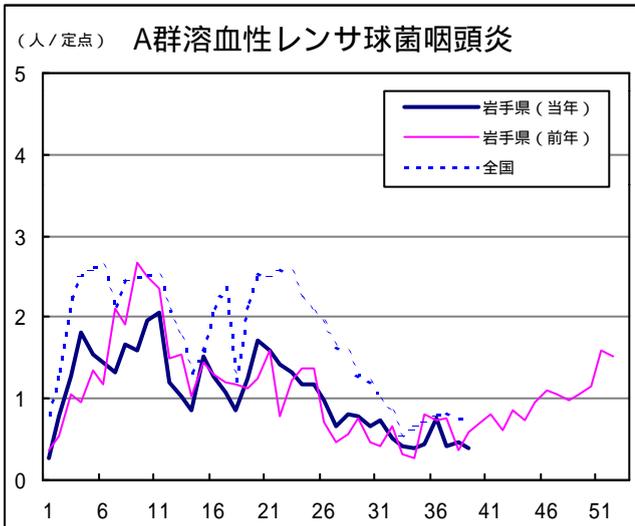
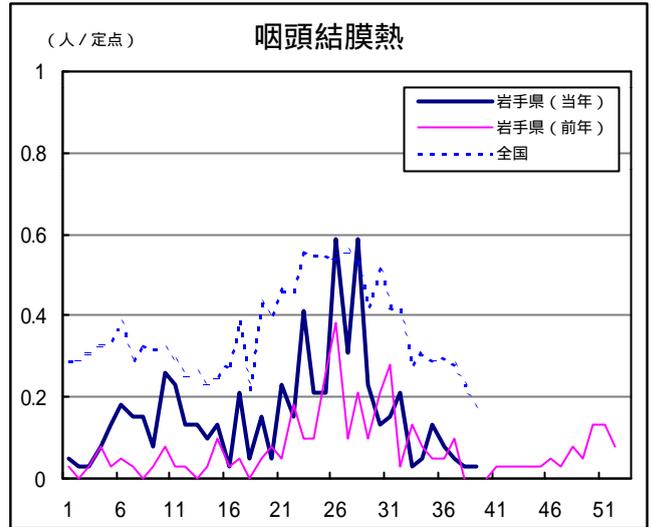
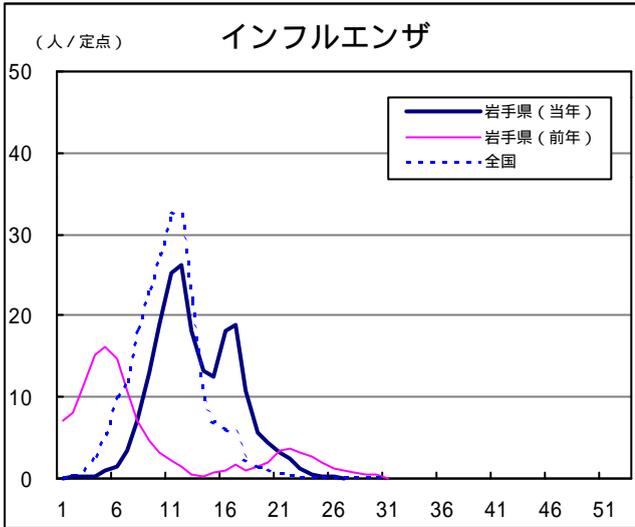
6月8日から10月3日までに報告された患者は19名です。詳細は、患者報告状況のホームページをご覧ください（[http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/measles\\_zensuu\\_iwate.html](http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/measles_zensuu_iwate.html)）。

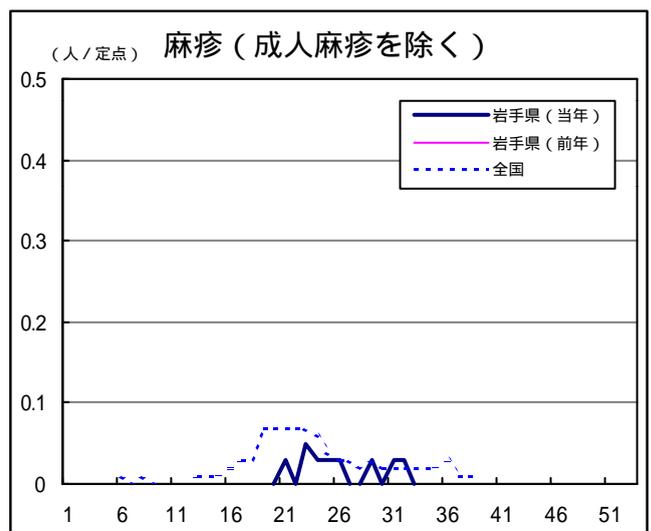
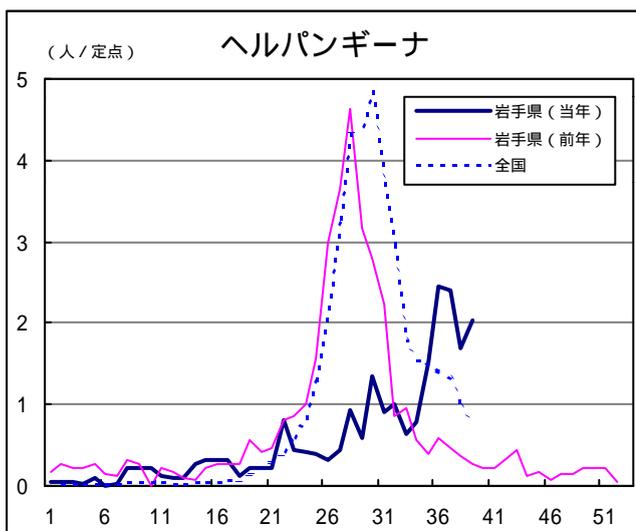
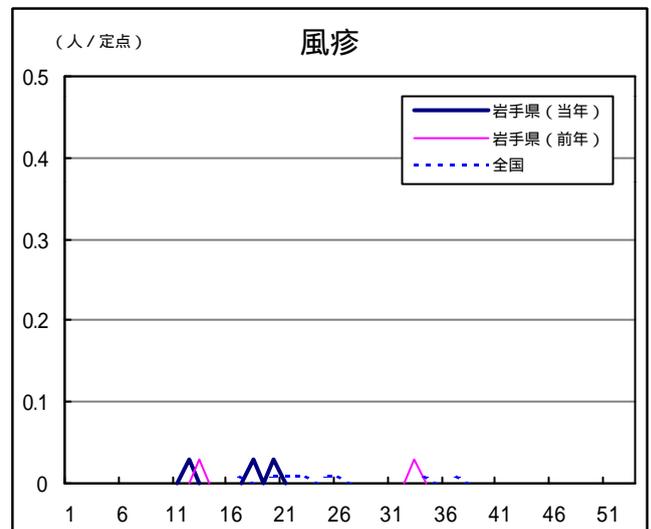
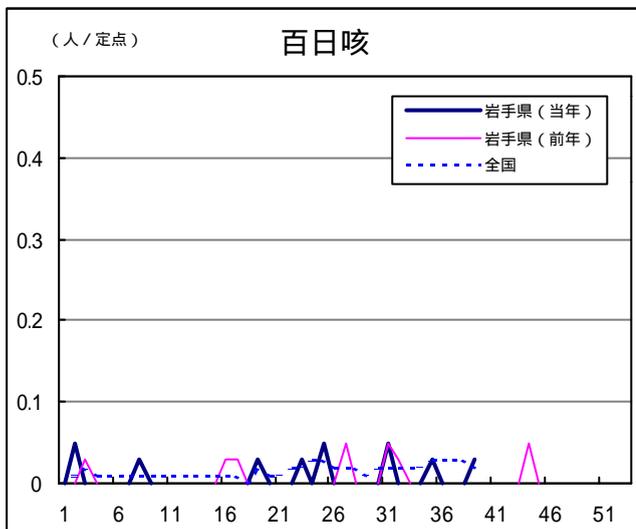
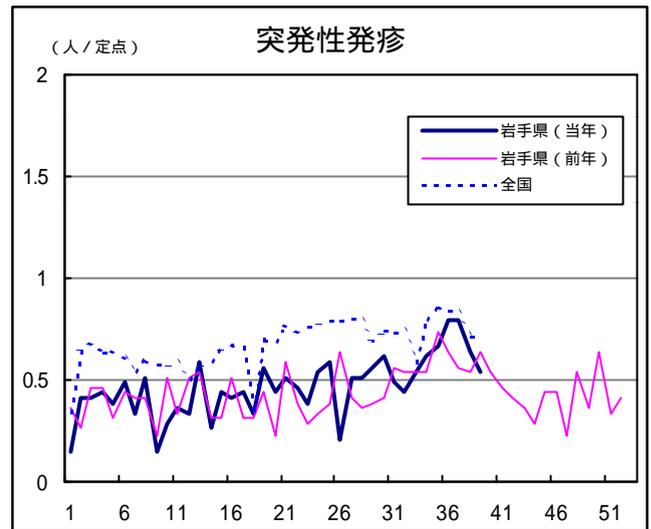
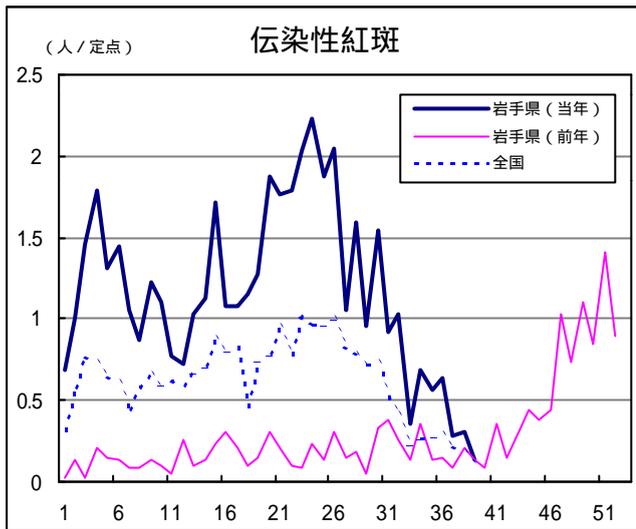
## Q & A

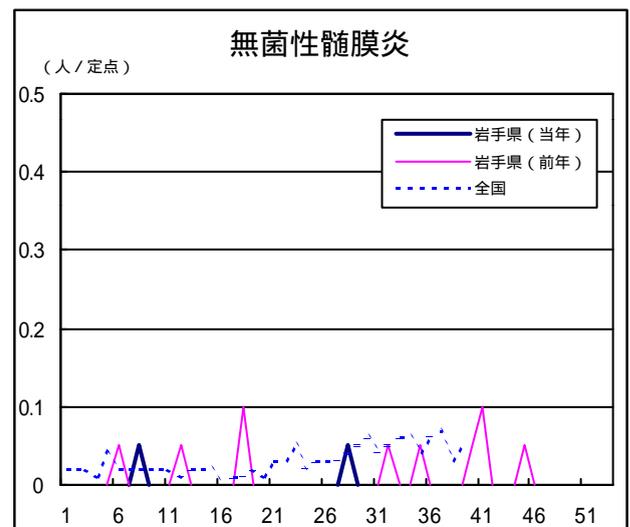
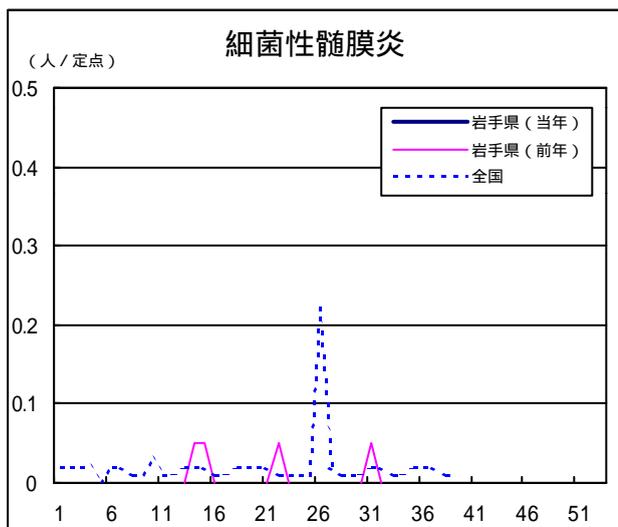
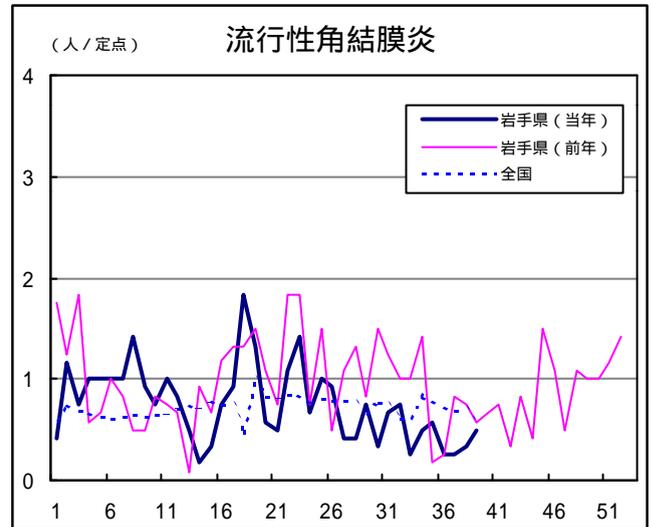
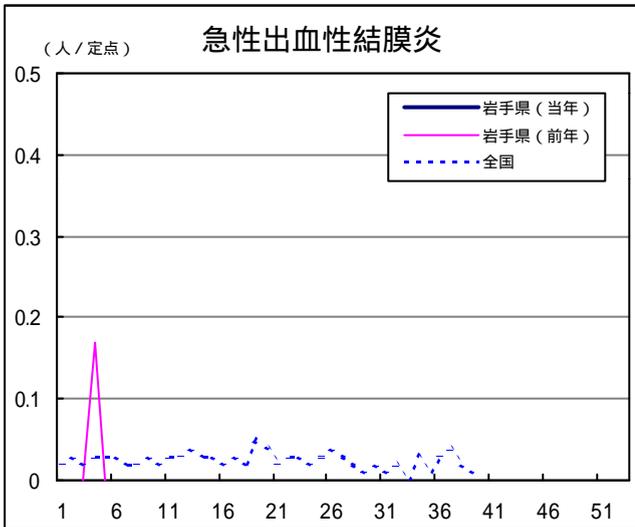
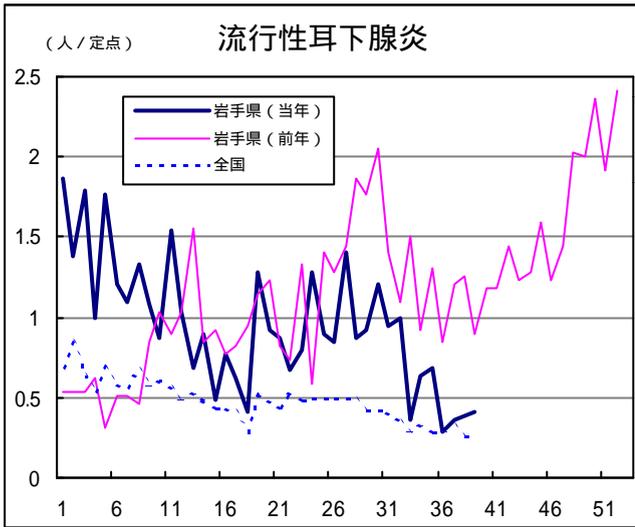
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

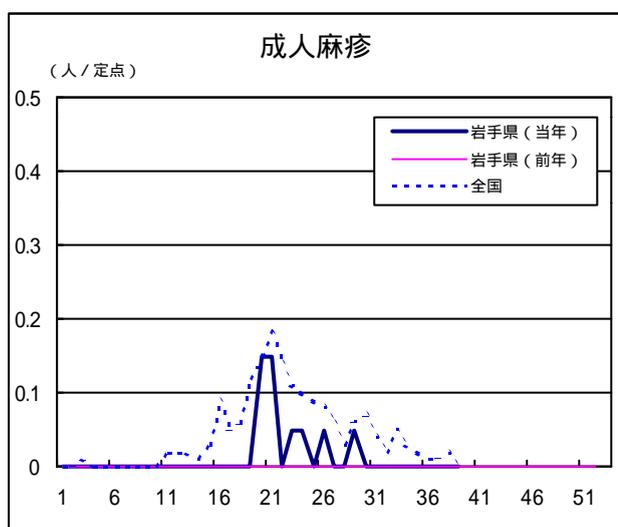
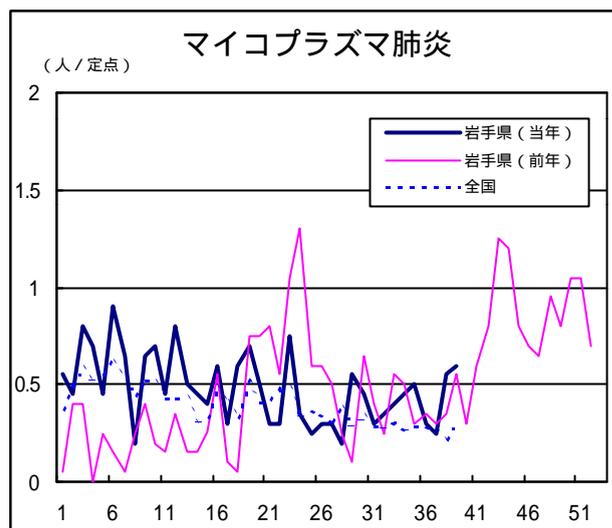
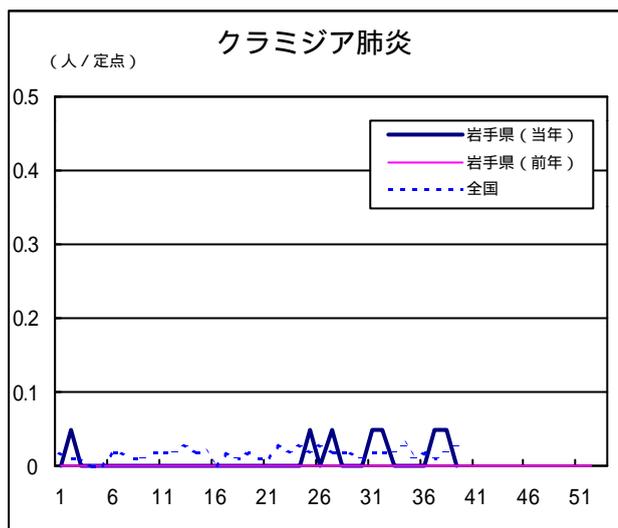
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	39	12	20
盛岡		17	11	3	5
花巻		7	4	1	3
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成19年第39週 平成19年10月5日発行  
 監修：岩手県感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県感染症情報センター  
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>